

# 公式記録

(社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

## 平成23年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

## 準決勝 【 37 】

主審 署名	浦元 雄一郎
----------	--------

日時	2012年2月4日(土) 11:00 キックオフ				会場	アスパ五色 メイングラウンド					
天候	晴れ	風	強風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長	分 / PK戦	有

マツリツツナ	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	菅原 正裕 / 田村 孝次		観衆	200人	
主審	浦元 雄一郎		副審1	夏苺 圭介		副審2	田中 淳		第4の審判員	梶山 勝弘	

チーム名	三田学園高校				kick off	0	前半	2	後半	1	延前	延後	PK戦	3	チーム名	県立伊丹高校			
					選手番号	P									P				
					○× 先	K									先	○×			

交代 No.	OUT時間	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート				交代 No.
		延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	
	分					篠崎 瑛 2年	1	GK	GK	1	福原 克哉 2年					分
	44分					中郷 拓弥 2年	3	DF	DF	4	田中 公貴 2年					分
	分					内野 雄介 2年	4	DF	DF	3	下村 航介 2年					70-1分
	70-2分					中嶋 幸樹 2年	5	DF	DF	⑦	寺西 元輝 2年					分
	分					中尾 彰吾 2年	6	MF	DF	5	大串 聡輝 2年					分
	67分					原口 颯年 2年	7	MF	MF	8	藤村 駿 2年	3*				67分
	分					黒田 悠佑 2年	8	MF	MF	15	岸田 裕哉 1年					分
	分					多田 敬士 2年	10	MF	MF	9	大町 亮太 2年		1*			68分
	分					中川 雄太 2年	⑪	FW	MF	10	藤井 拓也 2年					分
	分					大西 祐次郎 1年	14	MF	FW	17	井口 俊一郎 1年	1				分
	分			1	2	松下 昂佑 1年	18	FW	FW	18	辻 光瑠 1年	1*				58分
3	分					新家 惇史 2年	2	DF	GK	12	高井 人志 1年					分
	分					大岡 龍佑 2年	9	FW	MF	14	齊藤 裕介 1年					分 18
5	分					片芝 一 1年	13	DF	DF	20	清水 裕介 2年					分 8
	分					岸本 啓太 2年	15	DF	DF	6	清久 才貴 2年					分 3
	分					中谷 洵貴 1年	16	DF	MF	11	福岡 佑馬 2年					分
7	分					中川 竜一 2年	17	MF	DF	24	津田 康介 2年					分
	分					足立 湧人 1年	19	MF	FW	21	清水 勇太 2年					分
	分					大久保 雅俊 1年	20	FW	MF	13	岸田 恭祐 2年					分 9
	分					荻野 大地 1年	23	GK	DF	2	松田 勇也 1年					分

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
31分	警告	6	中尾 彰吾	異議	3			1	2	シュート	5	1			6	分				
50分	警告	4	内野 雄介	反ス	4			3	1	GK	6	4			10	分				
70分	警告	6	中尾 彰吾	ラフ	1			0	1	CK	1	1			2	分				
70分	退場	6	中尾 彰吾	警2	8			7	1	直接FK	9	9			18	分				
分					3			1	2	間接FK	0	2			2	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]	略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球n・混戦×・ヘディングH・シュートS
	23分	県伊丹	18	辻	0-1	左 FK ⑧ n 中央 ③ H n ⑩ S	
	32分	県伊丹	8	藤村	0-2	左 FK ⑧ S	
	64分	県伊丹	9	大町	0-3	右 ⑪ n 中央 GK こぼれ ⑨ S	
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		

戦評者 所属【 伊丹北・県西宮 】 氏名【 吉田・石塚 】  
互いに相手の様子を見ながらの静かな立ち上がり。4-4-2システムでサイドを起点に攻撃する県伊丹は、前半4分にFKから⑧藤村のシュートがクロスバーにはじかれる。対する三田は4-5-1システムで、⑪中川⑦原口のスピードあるドリブル突破から得点を伺う。前半7分、FW⑩松下がシュートを放つがバーにはばまれ得点には至らない。FKから県伊丹が2得点をあげ前半を終える。後半に入り、両チーム共に相手DFラインの裏を狙い突破をはかるがDFラインの対応により決定機をつくることできない。後半29分、県伊丹は右サイドからのセンタリングによりゴール前のこぼれ球を県伊丹⑨大町が押し込みゲームを決定つけた。両チームとも相手の攻撃によく対応し、集団でボールを奪う能力を活かしながらも、ゴール前のこぼれ球を予測し得点を重ねた県伊丹に軍配が上がった。

[備考]